

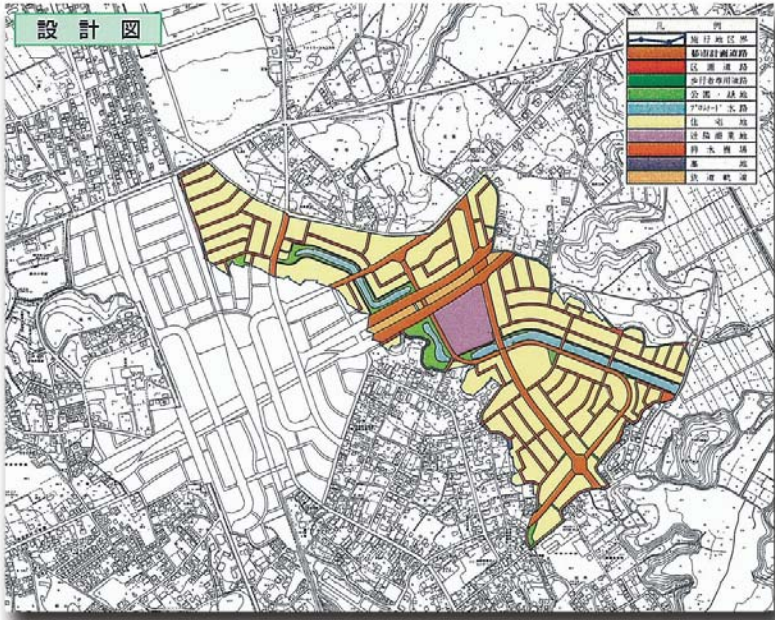
《 守谷東地区 》

～ 再減歩 + 賦課金方式 ～

概要

本地区は、関東鉄道守谷駅を中心に広がる守谷市の中心市街地に隣接していましたが、農地の多くが休耕田のまま放置され、荒廃が進んでいました。そのため、土地の有効利用を図り、安全で快適な生活が出来る事を目的として、土地区画整理事業が始まりました。その後、常磐

新線計画（つくばエクスプレス）が正式決定されるまで、換地が具体的に決定されないなど、様々な課題により、事業費が約105億円不足することが判明しました。この不足額を再減歩と賦課金の徴収等により事業を再建し、事業を完了した地区です。



【施行前】



【施行後】



地区面積		39.5 ha
権利者数		324人
事業費		206億円
減歩率	公共減歩率	25.91%
	保留地減歩率	25.37%
	合算減歩率	51.28%
施行後公共用地率		35.99%
収入	基本事業費等	48億円
	保留地処分金	87億円
	市単独費	13億円
	賦課金(再減歩含む)	26億円
	その他	1億円
支出	公共施設整備費	33億円
	移転施設補償費	20億円
	その他	153億円
負債処理		31億円

TX横より駅方向施行前



施行後

